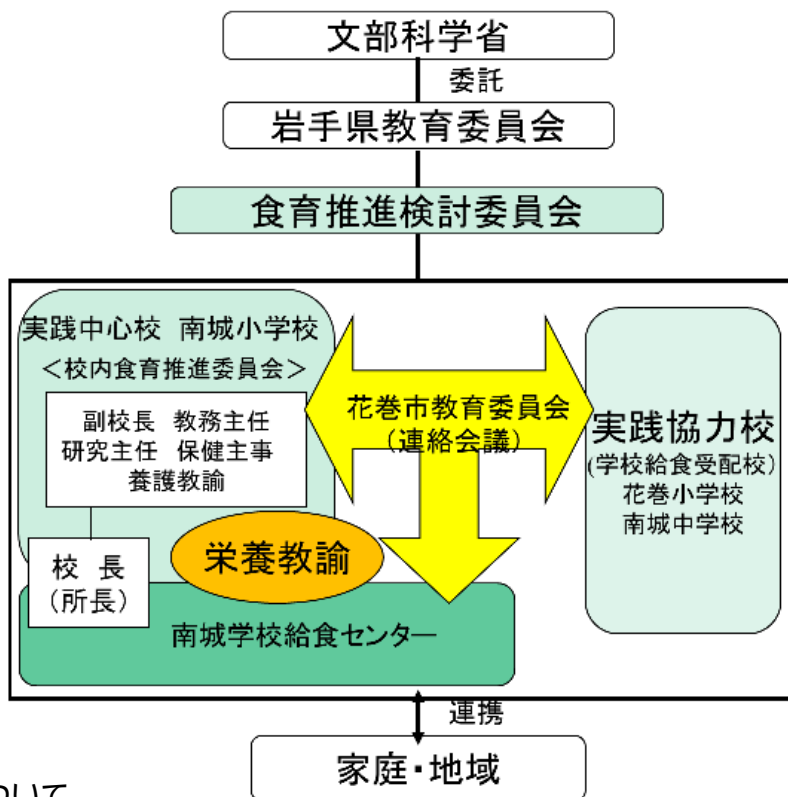


栄養教諭を中核とした食育推進事業 事業結果報告書

都道府県名	岩手県
推進地域名	花巻市

1. 事業推進の体制



2. 具体的取組等について

テーマ1 児童生徒の望ましい食習慣の形成をめざした食に関する指導の在り方

(1) 教職員を対象とした食育研修会の開催

学校における食育の大切さに対して理解を深め、児童の実態を確認し、取組について共通理解を図るために教職員の研修会を実施。

第1回(平成23年5月31日)栄養教諭による説明、ワークショップ方式による交流

第2回(平成23年10月5日)りんご生産による講話と農場の見学、収穫体験等



第1回研修会(ワークショップによる意見交流)

第1回研修会 教職員の感想

食育について全教職員で話し合う時間がなかなかとれなかったのが実態だったが、今年度本研修会を開催したことで、給食時間の指導や学校で取り組む食育について共通理解する貴重な機会となった。



第2回研修会(講話と農場見学)

(2) 食に関する指導の全体計画及び年間指導計画の見直し

新学習指導要領の実施に伴い、教科等で食に関する指導を行う機会や学年ごとの内容を抽出することで、教職員全体が教科と食育の関わりを認識することができた。

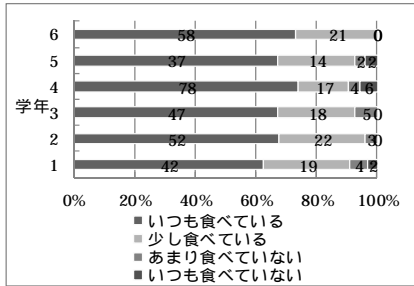
(3) 児童及び家庭の実態調査

食に関する指導の方向性を探るため、児童と保護者を対象にアンケート調査を行った。

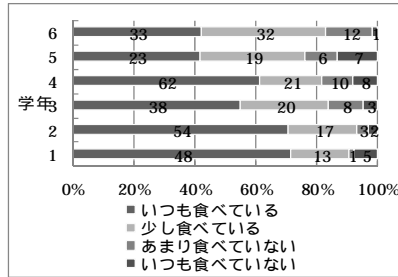
第1回6月 第2回目

第1回調査から見てきた児童の実態

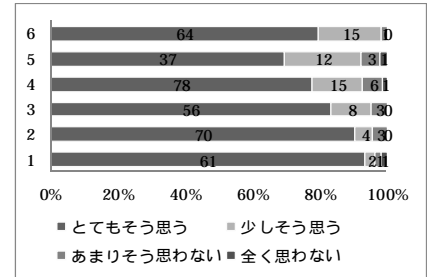
<給食に苦手なものが出たときは>



<家で苦手なものが出たときは>

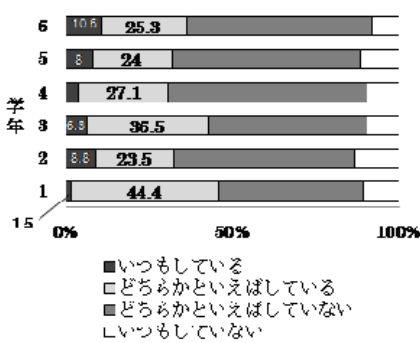


<食事のマナーは大切だと思う？>



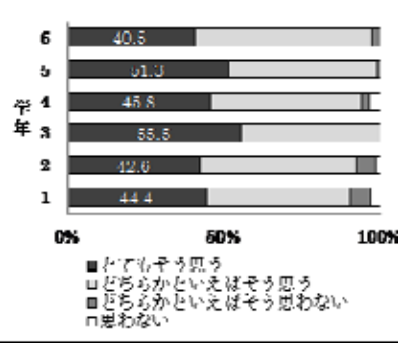
保護者の実態

郷土料理を取り入れていますか



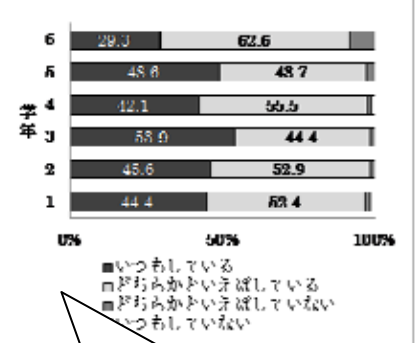
家庭での食事作りにおいて、郷土料理を取り入れる家庭が少ないことがわかった。

苦手な食べ物を食べさせたいと思いますか



苦手な食べ物を食べさせるために、家庭で工夫していることとして、「細かく切る」「他の食材と合わせる」「味付けをかえる」「おいしいよと言って食べる」など様々な取組をしていることがわかった。

食事のマナーに気をつけていますか



食事のマナーに気をつけていると回答した家庭は多いものの、保護者の声から、「はしの使い方」「交互に食べる」「食器を持つ」などのマナーは児童に十分身につけていないことが聞かれた。

(4) 家庭・地域への啓発のための取組

ア 食育講演会

保護者と教職員を対象に、子どもたちの心身の成長と「食」の関係について再確認し、食育の重要性と家庭や学校での具体的な取組の方法について専門家から学ぶ機会とする。

- ・開催期日 平成23年6月18日(土)
- ・講師 横浜国立大学 教授 杉山久仁子 氏
- ・講演内容 「子育てと食の大切さ」



参加者の感想 (抜粋)

家族が揃って食事をする事ができるうちに、たくさん「共食」して食べることを楽しみたいと思いました。せっかく子どもがお手伝いをしようとしているのに、「遊んでいいよ」というようなことを言っていました。これからは子どもの興味や、やってみたいという気持ちを大切にしていこうと思いました。大事なことは三食欠かすことなく摂らせること、そして、肩の力を入れすぎずに出来ることからやってみることだと聞いてホッとしました。講師の先生の話術がとても上手で、楽しくわかりやすかったです。

イ 授業参観日（学校オープンデー）における食に関する指導

家庭と連携して指導するため、学校で行っている食に関する指導を保護者の理解を得るための機会とした。

第1学年 学級活動「すききらいしないでなんでもたべよう」（6月実施）

第4学年 学級活動「健康な体をつくるために」（11月実施）



授業参観日の様子

参観日の保護者の感想

1年生でも食べ物の栄養について勉強することを知りました。家でも、好き嫌いをしないで何でも食べられるように、声をかけていきたいです。

ウ 給食試食会

保護者に学校給食の役割や献立作成のポイントについて、理解してもらう機会とするとともに、家庭での食事作りの参考になるように開催。

平成23年6月16日（水）第一学年保護者対象

エ 夏休み親子料理教室

苦手な食べ物にも親しみを感じ、「食べてみたい」という気持ちを持たせるため、子どもたちが苦手とする野菜を自分の手で料理する場を設定する。また、親子で料理を作る経験を通して、親子のコミュニケーションを深め、料理の楽しさを体験させる。

日時 平成23年8月2日、3日 10:00~12:00

参加者 親子43名

内容 冷製パスタ、ピーマンクレープ

おいし~
ピーマン
クレープ
苦くないね!

調理員さんにも参加してもらい、料理の作り方を教えてもらいました。



夏休み親子料理教室の様子

オ 食事マナーが
ばり週間

児童にマナーの大切さを理解させ、望ましい習慣を身に付けさせるとともに、家庭で取り組むことで、保護者への啓発を図る。

期間：平成23年
11月14日(月)~

11月20日(日)

方法：月曜日から日曜日までの7日間、児童の家庭での食事のマナーの状況を調べる。

保護者に評価してもらい、記録カードに自分で印を付ける。

めざせ！マナーの達人

食事のマナーを身につけよう！

11月24日（木）までに学校に持たせてください。

6年1組 名前

	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	合計		
	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	○	△	×
感謝の気持ちを込めて、食前・食後のあいさつをする	○	○	○	○	○	○	○	7	0	0
箸を正しく持つ	○	○	○	○	○	○	○	7	0	0
正しい姿勢で食べる	○	○	○	○	△	○	○	6	1	0
食器を手に持つ	○	○	○	○	○	○	△	6	1	0
よくかんで食べる	○	○	○	○	○	○	○	7	0	0
ごはん・おかず・汁を交互に食べる	○	○	○	○	○	○	○	7	0	0
〈お家で取り組みたいマナーを考慮して書きましょう〉 好き嫌いなく食べる。	○	○	○	○	○	○	○	40	2	0

★取り組んでみての感想
取り組んでみて食事のマナーを守るのはあらためて大変だったと思いました。これからは、自分で心がけていきたいと思いました。

★お家の方から
普段、何気なくしている事ですが、項目ごとに気をつけて食事をする事で改めて食事のマナーについて考えさせられました。これからあつたマナーを養ってほしいと思います。

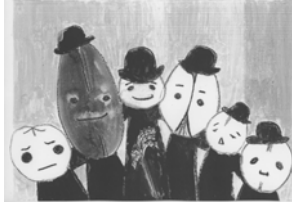
栄養教諭から
前半は18・7エクトのDの多めです。この調子!!



カ 冬休み親子食育キャラクターコンテスト

食に関する学習の定着を図り、望ましい食習慣を身につけようとする意識を高めるため、食育の授業や給食指導などで学習したことを、もう一度親子で振り返りながら食育キャラクターを考える。

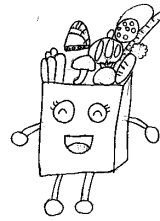
南城小学校食育キャラクター大集合！



<雑穀賢治先生>
花巻の雑穀を紹介する



<食キング王>
残さず食べるように
呼びかける



<ベジバックちゃん>
野菜の良さを教えてくれる



<おわん>
地場産物を紹介する

*これらのキャラクターは今後、食育だよりや校内掲示で活用する。

キ 食育だより

学校と家庭が共通の認識を持ち、連携しながら食育を進めていくために、食に関する情報を掲載した食育だよりを家庭に向けて発行。(月1回発行)

ク 地区懇談会での交流

家庭における食育の大切さを理解してもらうため、食に関する実態の情報を交換する。

期日 平成23年6月22日(水)～6月29日(水)

内容 各地区共通の話題として食育をとりあげた。家庭で工夫していることや困っていることを情報交換し、今後の家庭での食育に役立てる。



食育について話し合う
保護者と教職員

<主な話し合いの内容>

- ・学校ではがんばって食べるのに、家では苦手な食べ物を食べないので困っている。
- ・食事の準備や後片付けのお手伝いをさせたいが、食事時間や寝る時間が遅くなってしまいうので余裕がない。
- ・米とぎなどの調理をさせている。
- ・夏休みになると、おやつを食べる量が増えてしまう。

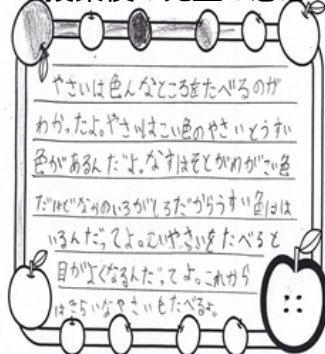
(5) 教科等における食に関する指導

ア 学級担任と栄養教諭が連携した食に関する指導

児童が授業で得た食に関する知識を生活に活かし、望ましい食習慣を定着させられるよう、児童の実態を把握している学級担任と専門的な知識を持つ栄養教諭が連携して指導を行う。



授業後の児童の感想



<学級担任の感想>

チームティーチングで授業をすることで、学級担任と栄養教諭の役割を上手く機能させることができた。栄養教諭の説明を子どもたちは身を乗り出すようにして聞いていた。

栄養教諭が子どもたちに指導したことを、今後は学級担任が継続して指導していきたい。

指導内容 * 1・3・5年では文部科学省発行の「食生活学習教材」を活用。

学年	短学活(12:00~12:15)	教科等
1	給食ができるまでの様子を知ろう	すききらいしないで何でも食べよう(特別活動)
2	バランスよく食べよう	やさいのひみつを知ろう (特別活動)
3	はしを正しく持とう	おやつを食べ方を考えよう (特別活動)
4	よくかんで食べよう	健康な体をつくろう (特別活動)
5	朝食をしっかりと食べよう	地場産物について知ろう (特別活動)
6	カルシウムをとろう	加工食品の選び方を考えよう (家庭科)

イ ボラン給食

異学年の兄弟学級で会食し、食事の楽しさを感じさせるとともに、思いやりの心を育てる。食事のマナーや栄養など栄養教諭が指導する場とする。

毎週水曜日

内容 ボランルーム(ランチルーム)での兄弟学年ごとの会食

ウ 生産者を招いての交流給食

食べ物や生産者に対する感謝の気持ちを育てるため、生産者とともに会食する。

期日 平成23年11月4日(金)

内容 当日の給食に使われている食材と生産者について知り、生産者の農作物を育てる工夫や努力についての話を聞くなどして交流する。



調理員さんとボラン給食



りんご生産者の照井さんのお話

児童の感想

伊藤さんと照井さんがこんなに一生けん命やさいやりんごを作っていることをはじめて知りました。いつもよりおいしく感じました。これからも残さず食べたいです。

テーマ2 共同調理場方式における効果的な食育の進め方

(1) 検討委員会の開催

ア 第1回 平成23年6月7日(火) 事業概要、計画、今後の日程について確認

イ 第2回 平成23年9月21日(水) 取組の中間報告、アンケートの結果報告と課題の把握、今後の取組について

ウ 第3回 平成24年1月18日(水) 12月実施のアンケート結果報告、取組の成果について

(2) 地場産物を利用した献立計画

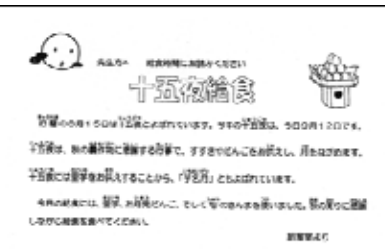
地元で収穫される食材を身近に感じ、感謝の気持ちを持たせるため、地場産食材を給食に活用する。

「雑穀の日」毎月第3木曜日 りんごの活用

(3) 学級担任による食に関する指導を支援するための「食べ物メール」の発行

学級担任が、児童に対して献立のねらいや食材の説明などを行う際に活用できる資料として、各学級の配布。

回数 月2回程度 内容 行事にちなんだ献立の由来や食材の説明



十五夜についての食べ物メール

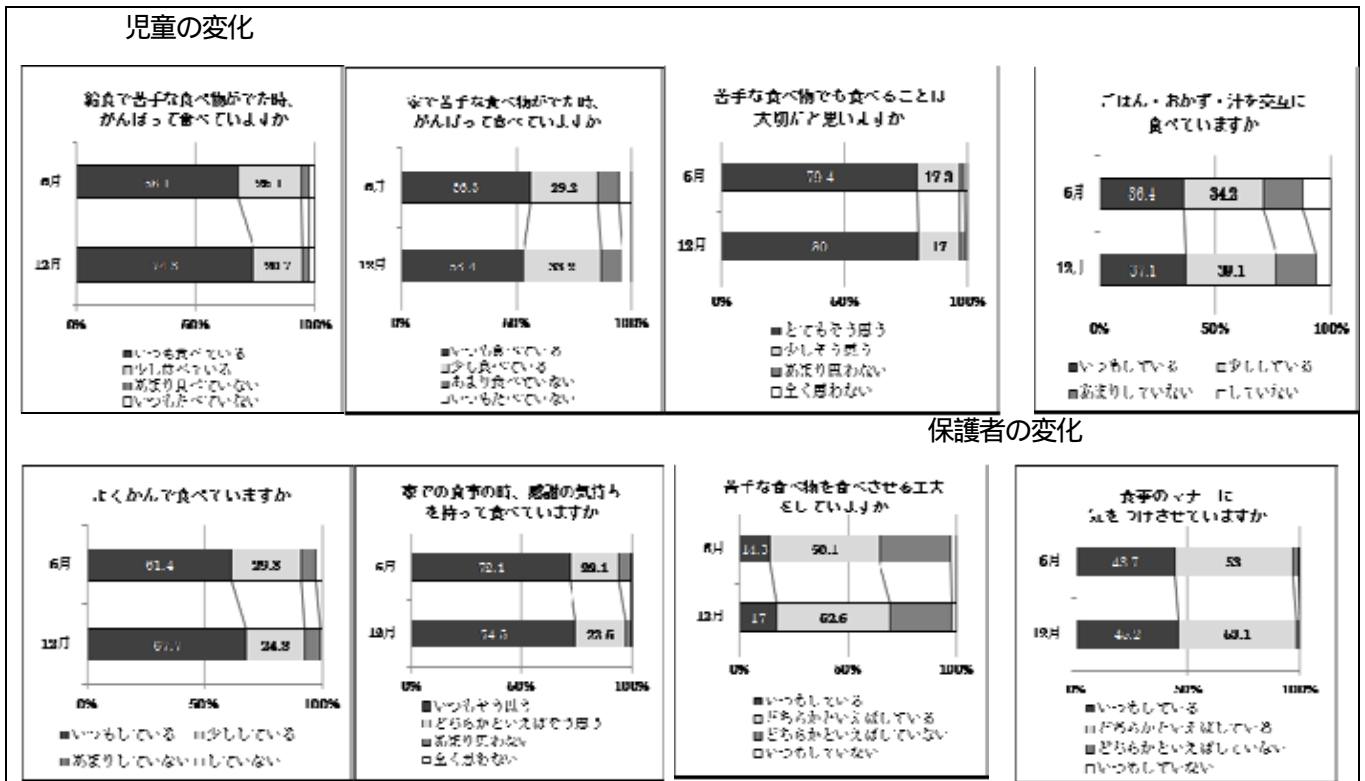
(4) 栄養教諭による訪問指導

児童・生徒との交流を深めながらその実態を知るとともに、食に対する興味・関心を高めるため、花巻小学校及び南城中学校を

月日	学校・学年	指導内容(時間)
4月25日(月)	花巻小学校1・2学年	給食センターの紹介(給食の時間)
4月27日(水)	南城中学校 全校	給食準備の参観(給食の時間)
6月15日(水)	花巻小学校	保護者試食会(給食の時間)
9月1日(木)	南城中学校 1学年	中学生に必要な栄養について(給食の時間)
9月26日(月)	花巻小学校 2学年	会食、給食が出来るまでの紹介(給食の時間)
9月27日(火)	南城中学校 2学年	スポーツと栄養について(給食の時間)
9月29日(金)	花巻小学校 2学年	会食、給食が出来るまでの紹介(給食の時間)
11月21日(月)	花巻小学校 6学年	会食、給食献立作成について(給食の時間)
11月22日(火)	花巻小学校 6学年	会食、給食献立作成について(給食の時間)

訪問し、食に関する指導を行う。	11月29日(火)	花巻小学校 4学年	会食、食事のマナーを知ろう(給食の時間)
	11月30日(水)	花巻小学校 4学年	会食、食事のマナーを知ろう(給食の時間)
	12月8日(木)	花巻小学校 1学年	あきみちゃんが元気になる作戦を考えよう(特別活動)

数字で変化のあった事項について



事業全体を通じて、特に効果のあった方策等について

- (1) 栄養教諭が中心となって校内研修会を行ったことで、食育に対する教職員の共通理解を図ることができたため、各学級での児童への食に関する指導の充実に役立った。
- (2) 食育講演会後の保護者のアンケートや12月の実態調査から、栄養バランスなどに配慮した食事作りや、家族そろっての「共食」などを実践している保護者が増えてきている。
- (3) 新学習指導要領の実施に伴い、食に関する指導の全体計画や年間指導計画を見直したことは、教科等と給食献立、さらには学級担任と栄養教諭による食に関する指導を関連付けて行うことに役立った。
- (4) 学級担任と栄養教諭が連携して、各学年で食育の授業を行ったことは、児童の理解を深め、「食」への興味・関心を高めることに役立った。
- (5) 実践協力校である花巻市立花巻小学校・花巻市立南城中学校の食育担当者と各校の食育推進について話し合う機会が増え、連携した様々な取組を行うことができた。
- (6) 本事業に取組んだことで、食育に関する校内体制の整備が進み、栄養教諭を中核としながら、全職員で食育を推進することができた。

今後の課題(今回の事業により新たに見えた課題など)

- (1) 学級担任と栄養教諭との連携を一層深め、立案した食に関する指導の全体計画に基づいた各学年での食育指導をさらに充実させていきたい。
- (2) 家庭での食育を充実させるために、子どもの健やかな心身を育む食事作りの工夫や望ましい食習慣を身につけさせようとする保護者の意識を高める取組を、さらに工夫しながら継続して行う必要がある。
- (3) 協力校である花巻市立花巻小学校と花巻市立南城中学校における食に関する指導の全体計画や年間指導計画の整備や食に関する指導の充実に支援していきたい。
- (4) 児童・生徒の食べ物や生産者に対する感謝の気持ちをさらに高めることができるよう、児童・生徒と生産者が関わる機会を増やしていきたい。